

事業区分
金銭給付

平成27年度 事務事業評価シート

事務事業名	みんなのひろば祭事業助成				所管	福祉部		
						障害福祉課		
事務事業の概要	事業の開始・終了年度		[事業開始]	平成 8 年度	[終了予定]	- 年度		
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区みんなのひろば祭補助金交付要綱				
	事業対象	直接の対象:みんなのひろば祭実行委員会(障害者団体やボランティアグループなどで構成)、最終的な対象:障害者						
	事業目的	「みんなのひろば祭」を通じて、障害者の社会参加の促進、一般区民等に対する啓発及びボランティアの育成を図る。						
	事業内容	障害者団体やボランティアグループなどで構成された実行委員会を後援するとともに、運営費の一部として助成する。 【平成26年度助成実績額:595千円】						
	委託の有無	なし	委託内容					
	補助金の有無	なし						
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	24年度	25年度	26年度	
	活動指標	助成件数	件	1	1	1	1	
		参加団体数	団体	66	60	61	66	
	成果指標	参加人数(準備・当日)	人	1,040	970	1,040	992	
		決算額 (単位:千円)			595	595	595	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			1,250	852	850	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			0	0	0	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			595	595	595	
		総経費			1,845	1,447	1,445	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			282	291	281			
一般財源(区負担額)			1,563	1,156	1,164			
前回評価から改善した事項	なし							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	区内に拠点を置く障害者団体が多く参加しており、この祭典を通じて、障害者の社会参加を促進する等、本事業の目的が達成されており、必要性が高い。					
	効率性	3	実行委員会において協賛者を募り、資金確保に努めているが、財政的支援も必要であり、当面は現状を維持する。					
	手段の適切性	3	毎回、障害者・健常者を問わず、多くの区民が参集し、障害者との交流が図られ、障害者を理解する良い機会になる等、効果があがっている。また、準備期間を通じて障害者や団体相互の連帯感も醸成され、活性化にもつながっている。					
目的達成度	4	本事業による支援により、準備期間を通して、障害者団体相互の連携や活性化が図られ、社会参加促進に繋がった。障害者の社会参加や一般区民等に対する障害福祉の啓発につながっている。						
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性			
みんなのひろば祭実行委員会による自主的な事業運営により、障害者の社会参加の促進に効果があり、障害者団体相互の連携や活性化に寄与している。					維持			
				拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了				